

No.725 April 2017

ASAHI MACHI

Public Relations
の 広報 あさひまち

ピカピカのランドセル
うれしい新1年生

2017

4

No.725

4月1日より 任意予防接種 **ロタウイルスワクチン** 接種費用に助成 (1価…1回につき6,000円) (5価…1回につき4,000円) します

◆ロタウイルスとは？

ロタウイルスは、乳幼児に多く感染し「ロタウイルス胃腸炎」を引き起こします。症状は突然の嘔吐に続き、白っぽい水のような下痢を起こすのが特徴です。さらに脱水、腎不全、脳炎や脳症などの合併症を起こす場合もあり、感染のピークは生後3カ月から15カ月。小児急性重症胃腸炎の原因第1位で、受診した10人に1人が入院するとも言われています。

重症化は予防接種で防ぐことができます。詳しくは下記までお問合せください。

▶問合せ先 健康福祉課 健康推進係 ☎67-2116



◆主な予防接種スケジュール

ワクチン名	生後	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	1歳
不活化ワクチン 定期 B型肝炎 (母子感染予防を除く)			① ②					→
生ワクチン 任意 ロタウイルス			① ②	③				→
不活化ワクチン 定期 ヒブ			① ② ③					→
不活化ワクチン 定期 小児用肺炎球菌			① ② ③					→
不活化ワクチン 定期 四種混合 (DPT-IPV)				① ② ③				→

※ ○→ はおすすめの接種時期です。

※ の帯部分は同時接種が可能です。

※ **ロタウイルス・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の必要接種回数を早期に完了するには、同時接種で受けることをおすすめします。**

※スケジュールはあくまでも目安です。

◆助成の受け方と諸注意

朝日町に住民票のある方が対象です。

▶対象者

1価…生後6週～24週未満

5価…生後6週～32週未満

※ロタワクチンは1価と5価の2種類あります。接種する医療機関によって異なりますので、詳しくは医療機関へお問合せください。

▶助成額

1価…1回につき6,000円／2回接種

5価…1回につき4,000円／3回接種

▶助成方法

事前に医療機関に予約のうえ、接種してください。町内の医療機関で接種の場合はその場で助成されますので、当日自己負担分のみお支払いください。

町外医療機関で接種の場合は、一旦全額を支払い、翌月末まで領収書・印鑑・通帳を持って役場窓口申請してください。

目次 ◎ CONTENTS

- P2** 町長歳時記
- P3** Pick Up News
ロタウイルスワクチン接種費用に助成します
- P4** 特集
平成29年度のまちづくりと予算
・予算 ・主要施策 ・職員体制
- P10** 朝日町役場フロアマップ
- P11** 町政スポット
・平成29年度 町立病院診療体制のお知らせ
・県との人事交流職員が交代
・平成29年度 町消防団体制
・集落づくり協力隊員に
佐竹壽美氏、長岡典巳氏の2名を委嘱 ほか
- P14** まちレポ
・地域おこし協力隊活動報告会
・青空和合小学校活動報告会 ほか
- P16** 健康あさひるばんざい、町立図書館のご案内
それいけ協力隊とウサビ
- P18** らくらくポール教室、モンテディオ朝日町応援デー
- P19** 戸籍のまど
あさひ保育園の園長に遠藤康男氏が就任
LED街路灯5灯が寄贈されました
- P20** 平成29年度版「ふるさと納税リーフレット」ができました

表紙の写真



桜のつばきもふくらみ始めた4月7日、町内3小学校と朝日中学校で入学式が行われていました。今年の町広報は、大谷小学校へ取材訪問。7人の新1年生は少し緊張した面持ちながら、うれしさが隠しきれない様子。ピカピカのランドセルに真新しい教科書を詰めこんで誇らしげな笑顔です。(15頁に詳細記事)

町長歳時記 (129)

表情フィードバック

～心と体はつながっている～

春4月、新年度を迎え、心も体も何かしら新しい気分になって、「さあ、がんばって行こう」という張り切りモードへ変換になった方もおられるのではないのでしょうか。

今年の冬は比較的雪の量も少なく、例年に比べたら過ごしやすい冬期間でありました。それでも朝晩は寒く、家の外に出るのも億劫になってしまうのも冬のなせる業かもしれません。三寒四温を経て、ここに来て急激に雪も溶け春の息吹が感じられるようになり、役場庁舎南側に立つ桜の木も、間もなく芽吹いてくることでしょう。

雪国育ちの私たちだからこそ、春の風、春の匂いに生命の息吹を感じ、私たちの体内カレンダーも活動的になってくるのでしょうか。

ところで、そんな私たちの体と心は絶妙につながっているのです。例えば、何か辛いことがあった時に、無理やり笑う。そうすると不思議に楽しい気分になってくると言うのです。それは体が楽しいという形をとると、それが脳に信号を送って「自分は今楽しいんだ」と錯覚をすることによって、心の有り様も変わってきます。気持ちをコントロールするというのは、頭の中だけで行う訳ではなく、体を使ってもコントロールすることができるのです。

4歳の子どもは1日300回笑い、平均的な大人は1日15回しか笑わないと言われています。私たちはもっともっと人生を楽しみたいにしていけることができます。「楽しいから笑う」だけではなく、「笑うから楽しくなる」。

町づくり、地域づくりもまさしく同じで、大変な時こそ、皆で前向きに明るく楽しく生きていく。そこに新たな活力が湧き上がり、自然に人が集まってくる、住みたい、ずっと住み続けたい町づくりにつながってくるのです。

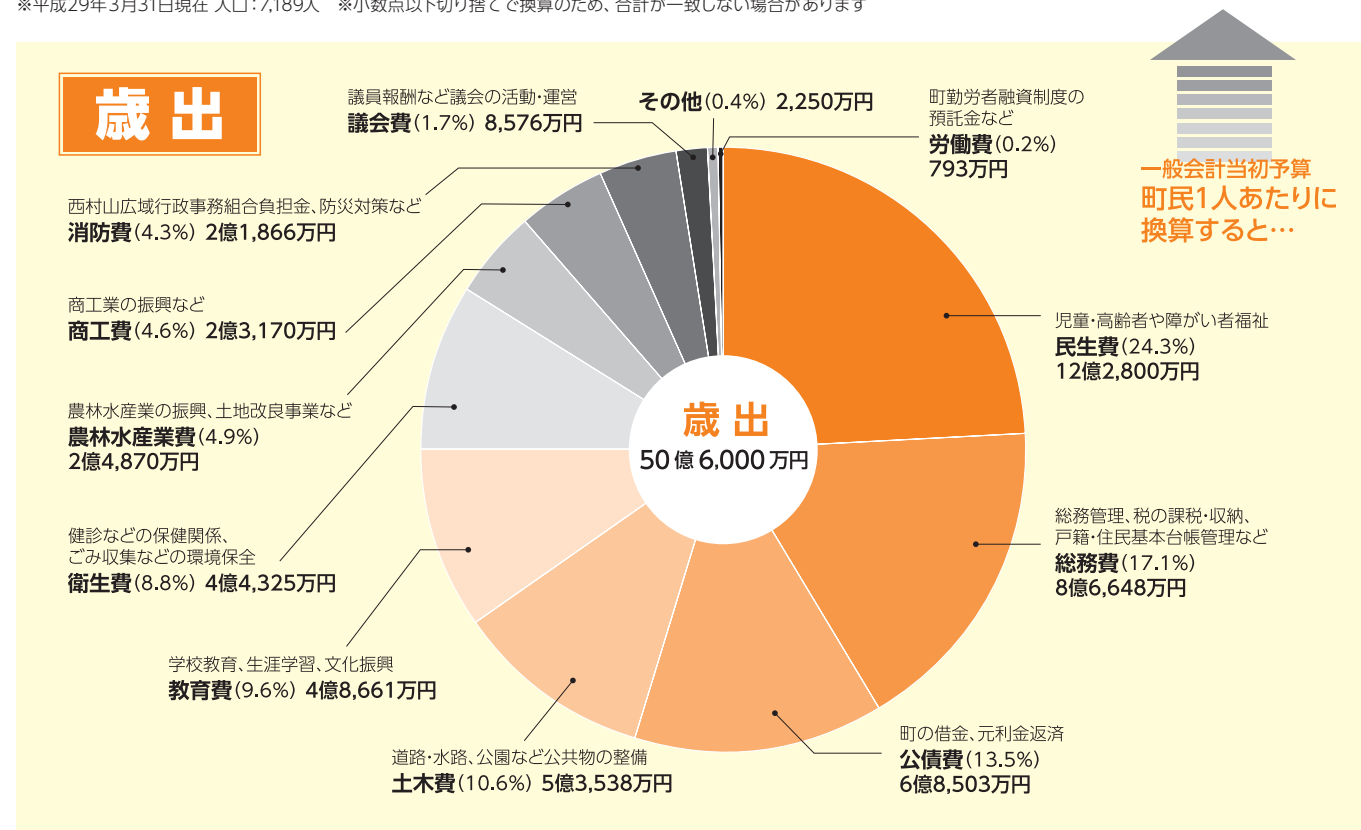
朝日町長 鈴木浩孝

次期総合発展計画の策定に向け、 未来につながる「攻めのまちづくり」を展開

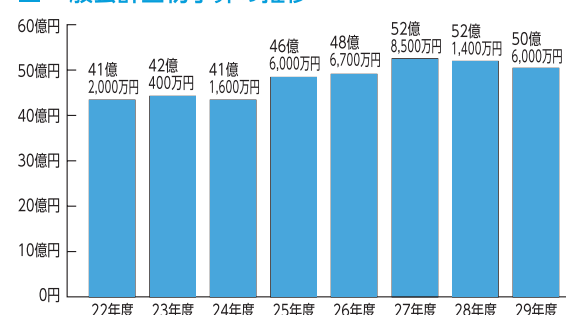
～第5次総合発展計画の総仕上げを行うとともに、民間や広域との連携など、新たな視点を取り入れる～



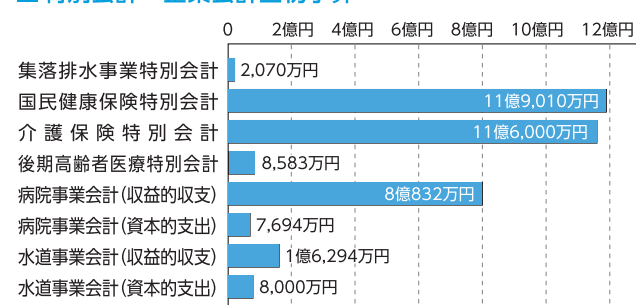
※平成29年3月31日現在 人口：7,189人 ※小数点以下切り捨てで換算のため、合計が一致しない場合があります



■ 一般会計当初予算の推移



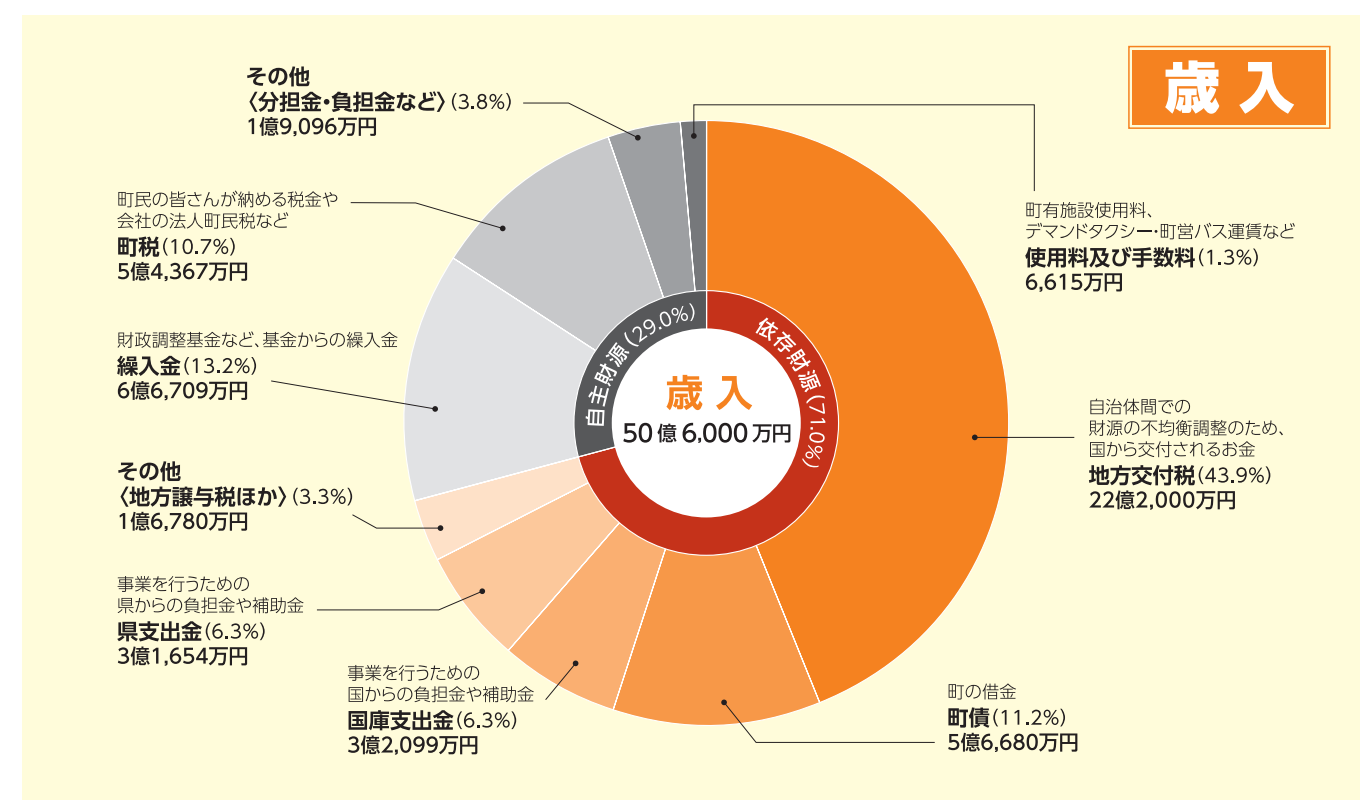
■ 特別会計・企業会計当初予算



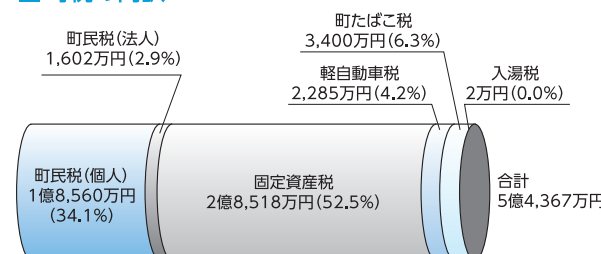
平成 29 年度 一般会計当初予算

前年度比
3.0%(1億 5,400 万円)減

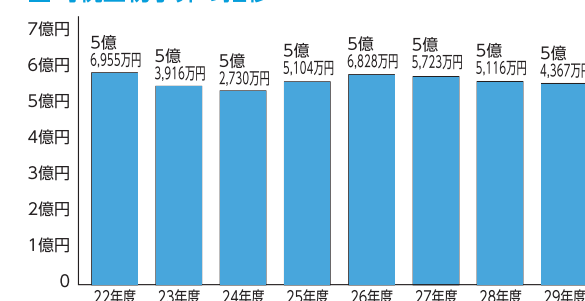
50億 6,000万円



■ 町税の内訳



■ 町税当初予算の推移



新規



高 齢者生産活動センター改修工事 **5,530 万円**
 ▶施設整備や外構工事など

高齢者が安心して文化活動などの生きがいづくりに取り組める拠点を整備するため、老朽化している部分の改修工事等を行い、施設の長寿命化を図ります。
 (担当：健康福祉課 福祉係)

拡充



放 課後児童クラブ整備事業 **1 億 2,732 万円**
 ▶放課後児童クラブ施設の建設

施設の老朽化および利用者の増加を受け、放課後児童クラブ「りんごっこ」を新設します。
 (担当：健康福祉課 子育て支援係)

拡充



安 心で便利な公共交通の整備 **3,424 万円**
 ▶デマンド型タクシー運行事業、山形市直行バス運行事業など

より安心安全で利用しやすい公共交通を整備します。各運行便数の拡充、高齢者の運賃負担軽減や、高校生などの学生が通学するための交通手段の確保を行います。
 (担当：政策推進課 地域振興係)

拡充



ふ りさと納税推進事業 **1 億 6,051 万円**
 ▶ふるさと納税寄付金を活用した事業、町や町特産品のPRなど

町へいただいたふるさと納税寄付金を財源として、様々な事業を実施します。寄付者へのお礼として特産品を進呈するとともに、返礼品のパッケージなどデザインの統一を図り、効果的なPRに努めます。
 (担当：政策推進課 ブランド推進係)

今年度の主な新規事業は、防災マップ整備事業や集落支援員設置・住民主体の地域づくり推進事業など。
 既存事業では、ブランド戦略推進事業・まちづくり提携事業を継続するほか、フルーツライン JR 左沢線を活用した広域連携プロジェクト、移住しごととータルサポート事業で、引き続き地方創生に関する交付金を活用します。
 また、高齢者生産活動センターの改修工事と放課後児童クラブの新設、安心で便利な公共交通の整備、農業担い手育成支援事業では、制度拡充や額の上乗せで事業の確実な推進を図ります。

町が今年度
がんばること

主 要 施 策

継続



フ ルーツライン JR 左沢線を活用した広域連携プロジェクト **726 万円**

JR 左沢線の利用を推進し、ワインなどの地域資源を活用した販促を行います。また、公共交通拠点活性化のため、町までのネットワークを形成します。
 (担当：総合産業課 交流観光係)
 (担当：政策推進課 地域振興係)

継続



移 住しごととータルサポート事業 **1,604 万円**

地方に関心のある都市部住民を招致するきっかけづくりとして、ゲストハウスの活用や町体験ツアーなどを企画します。また、移住する際の住居、仕事までサポートできる仕組みを整備します。
 (担当：政策推進課 総合戦略係)

継続



ブ ランド戦略推進事業・まちづくり提携事業 **420 万円**

ブランド化の取り組みを継続し、人・モノ・情報などが自然と集まる「引力のある町」を目指します。まちづくりでの提携として、ミズノ株式会社とともに、各種事業を実施します。
 (担当：政策推進課 ブランド推進係)

新規



防 災マップ整備事業 **380 万円**

常日頃の防災対策を充実させ、万が一の災害に備えるため、町内の危険箇所や避難所などをまとめた防災マップを作成します。
 (担当：総務課 防災係)

新規



集 落支援員設置事業・住民主体の地域づくり推進事業 **561 万円**

住民主体の地域づくりを推進するため、集落支援員を配置します。支援員は、地域の現状と課題を把握するため、住民と共に集落点検などを行います。
 (担当：政策推進課 地域振興係)

拡充



農 業担い手育成支援事業 **5,087 万円**

研修制度や就農条件の整備など、農業後継者の育成と若者、転入者、定年帰農者等の新規就農者が安心して就農できる総合的な支援体制づくりを図ります。
 (担当：農林振興課 農政係)

平成 29 年度 町立病院診療体制のお知らせ

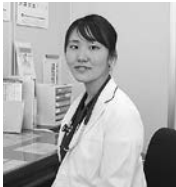
■朝日町立病院 ☎67-2125

◆よろしくお願いします。～新任医師の紹介～



医長（内科）
村形 寿彦

3月まで県立新庄病院にて循環器内科医として勤務していました。町立病院には2年前にもお世話になったことがあり、小林院長をはじめスタッフの皆様とまた一緒に仕事ができることが大変楽しみです。また、ワインまつりなどの町内イベントも大変楽しみにしております。元気に楽しくを心掛け、町民の皆様の健康増進に貢献できるよう尽力いたしますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



医長（内科）
渡辺 舞

滋賀県出身の渡辺舞と申します。一昨年前までは西川町立病院、昨年度は県立中央病院の消化器内科で勤務していました。昨年度はあさひミートマラソンやワインまつりなどに参加させていただき、朝日町を堪能しました。今後もまだ知らない朝日町の魅力を知っていきながら、町に密着した医療を提供できればと思っています。これから何卒よろしくお願いいたします。



医長（内科）
寺田 太一

以前は、酒田市の日本海総合病院や山形市の県立中央病院で、同じく内科医として勤務していました。私が生まれ育った酒田では、最上川が街を貫いて海へ流れ出ます。ここ朝日町と遠く下流の酒田は最上川でつながっているのだと、どこか嬉しく感じています。今後は町民の皆様のお役に立てるよう、邁上する鮭のごとく、誠心誠意朝日町の医療に携わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

◆お世話になりました。～退任医師のあいさつ～



前医長（内科） 瀬尾 恭一

2年間、朝日町立病院内科医師としてたくさんの患者さんの診療をさせていただきました。「町民のため」と最初はかなり肩肘を張って町立病院に赴任しましたが、最終的には私の方が、町民の皆さまに支えられながら様々なことを教えていただきました。患者さんだけではなく、そのご家族の方々からも大変よくいただき感謝しております。この春からは町立金山診療所へ外科医として赴任いたします。家族共々大変お世話になり、ありがとうございました。



前医長（内科） 渡辺 智之

平成 27 年度から 2 年間、朝日町立病院で内科医として勤務させていただきました。日本全体の高齢化が進む中で、町立病院でもご高齢の方が多く、たくさんの出会いと別れを経験しました。この 2 年間の内科勤務を今後の診療に生かしていきたいと思います。また、私生活ではミートマラソン、ワインまつり、町民ゴルフ大会など、町のイベントにも数多く参加させていただき、朝日町民としての生活を満喫できました。ありがとうございました。

◆今年度の診察予定表（○は午前、●は午後診察）

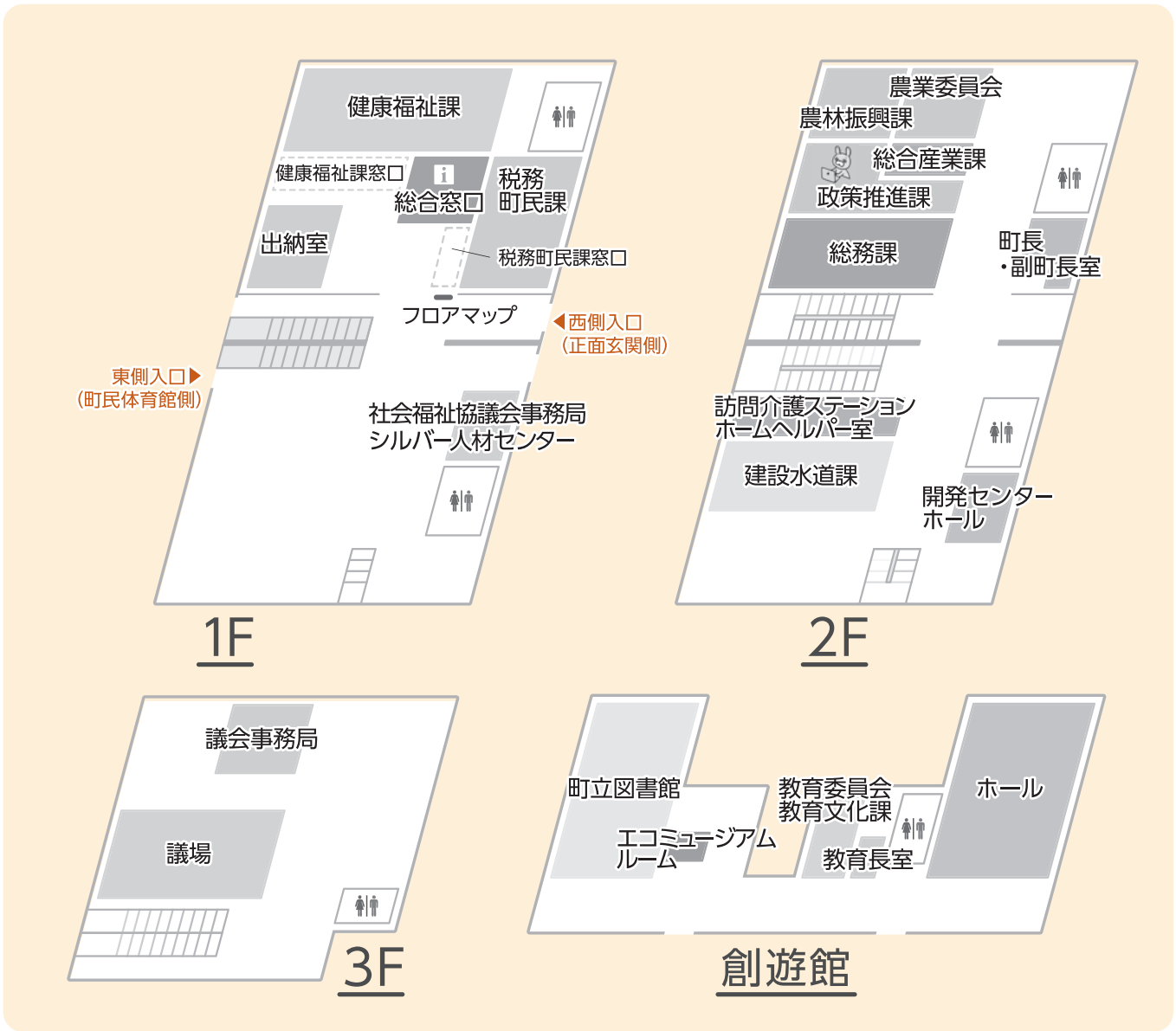
		月	火	水	木	金	土
内 科	循環器	○	○	○	○	○	○（※1）
	肝 臓	●					
	糖 尿		○				
外 科			○				
整形外科		○		○（※2）			
眼科		●			●		

（※1）毎月第1土曜日の診察となります。
（※2）第1・3・5週目のみ診察となります。
※診察予定は都合により変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。
※担当医など、詳しい予定についてはお問合せください。

平成 29 年度 朝日町役場

各課配置

今年度の各課、各係の配置は下図マップのとおりです。フロアマップは、役場庁舎内1階総合窓口の前に設置しています。変更があった場合も随時更新しておりますので、ご活用ください。



- 1F** | ●総合窓口 ●税務町民課（町民税収納係／環境・固定資産税係／戸籍年金係） ●健康福祉課（福祉係／子育て支援係／健康推進係／地域包括支援センター／保険給付係） ●出納室（出納係） ●社会福祉協議会事務局シルバー人材センター
- 2F** | ●総務課（庶務係／財政係／防災係／管財係） ●政策推進課（地方創生推進室・総合戦略係・ブランド推進係・地域振興係／地域情報係） ●総合産業課（交流観光係／商工振興係） ●農林振興課（農政係／事業係） ●農業委員会事務局（農地調整係） ●建設水道課（整備係／水道係） ●訪問介護ステーションホームヘルパー室
- 3F** | ●議会事務局（庶務係） **創遊館** | ●教育文化課（学校教育係／生涯学習係）

集落づくり協力隊員に佐竹壽美氏、長岡典巳氏の2名を委嘱

■政策推進課 地域振興係 ☎67-2112



委嘱状交付式の様子。写真左から鈴木町長、長岡典巳氏、佐竹壽美氏

4月10日、町は「集落づくり協力隊員」として佐竹壽美氏（夏草）と長岡典巳氏（太郎三）を迎え、同日付で委嘱しました。

これは、町が今年度から取り組む「集落支援員設置事業・住民主体の地域づくり推進事業」の一環で設置するもので、同隊員は今後、①集落の維持管理に係る（道・水路などの）基礎調査、②地域の現状や課題を住民自らが把握するための集落調査のサポート、③地域住民と行政、関係団体などが連携して地域活性化の取り組みを進められるよう支援する活動、などを行います。

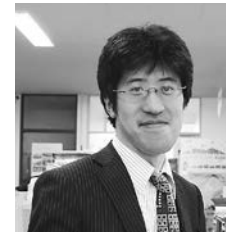
「町内55区の集落それぞれに違った特色があり、抱える課題も異なる。行政経験も豊富な2人には、地域の皆さんの声を汲み取り、まちづくりにつなげていく役割を期待したい」と鈴木町長。着任にあたって佐竹隊員は、「生まれ育った町や集落が現状の課題を克服できるように地域の方々と知恵を

しぼり、将来も美しく活気があるように、その一助になりたい」と語り、長岡隊員は「集落の現状聞き取りや道・水路などの施設の現地調査を行いながら、集落対策の推進に当たっていききたい」と意気込みを述べました。

任期は平成30年3月31日までの1年間です。

県との人事交流職員が交代

■政策推進課 総合戦略係 ☎67-2112



よく
お願いします。

政策推進課 総合戦略係長
佐藤 英輝

4月から朝日町にお世話になっております。3月までは県教育庁で、国や市町村との間に立って、要望関係の調整などを担当していました。

出身は県内最北端の遊佐町です。鳥海山と日本海に近く、庄内平野の恵みでお米や日本酒が美味しい所です。美しい朝日連峰を望み、りんごやワイン等で有名な朝日町。このたび、遊佐町とはまた違った魅力に溢れたこの町で暮らす機会に恵まれたことを、大変うれしく思います。

政策推進課では、第6次町総合発展計画の策定などを担当します。重責に身の引き締まる思いです。町民の皆さまとともに、より良いまちづくりを進められるよう精一杯努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



お世話に
なりました。

政策推進課 前総合戦略係長
國井 丈寿

2年間大変お世話になりました。町での仕事は分野も多岐に渡り、すぐには解決できないような課題もあり、非常に難しく大変な仕事であると感じました。しかし、だからこそやりがいがあり、県庁にいては分からなかった様々なことを知って、大きく成長できた2年間でした。

また、町職員の皆さんをはじめ町民の皆さんには本当に良くしていただき、朝日町の「人」の魅力を肌で感じることができました。そんな魅力の多い町ですから、これからはもっと良い町になっていくだろうと信じています。

朝日町に来て、皆さんとお会いできて本当に良かったです。県庁に戻ってからも、何度でも町へ遊びに来たいと思います。朝日町は私のもう一つの故郷となりました。2年間本当にありがとうございました。

山形日産自動車(株)とやまがた絆の森協定を締結

■農林振興課 農政係 ☎67-2114



(左から) 鈴木町長、吉村県知事、山形日産(株)小関代表取締役

県では、豊かな森林の保全と活用を通し、企業と地域との絆を深める「やまがた絆の森」を

「朝日町のブナ林をはじめとした豊かな自然に魅力を感じる。保全活動を通して、町に貢献していきたい」と小関代表取締役。締結期間は5カ年で、今後敷地内への植樹や環境学習などの森づくり活動で協力します。

つや姫の部で長岡泰美氏（宇津野）が優秀賞

■農林振興課 農政係 ☎67-2114



受賞報告に訪れた長岡さん（右／3月16日）

3月14日、平成28年度オールやまがた米づくり日本一運動食味コンクール表彰式が山形市で行

われ、「つや姫の部」で長岡泰美氏（宇津野）が優秀賞（第2位）の「オールやまがた米づくり日本一運動本部長賞」を受賞しました。同コンクール「つや姫の部」での入賞は町で初めての快挙です。

受賞を受け長岡氏は「朝日川の清流と町の豊かな自然環境、町水稻部会長はじめ多くの皆さんのご支援と協力があってこそ受賞です。来年も栽培基準マニュアルをしっかり守り、最高賞を目指して頑張ります」と喜びと意気込みを語っていました。

地域の安心を担う 平成29年度 町消防団体制

■総務課 防災係 ☎67-2111

団 長	浅岡清二郎（西 町）
副団長	安孫子宏栄（前田沢）
本部付分団長	阿部 勝彦（大 町）
〃	阿部 晃典（新宿）
〃	長岡 佳之（太郎二）
〃	佐藤 貴志（沼 向）
本部付副分団長	村山 文也（助ノ巻）
第一分団長	岡崎 正幸（水 本）
同副分団長	柴田 薫（大 滝）
一の一郎長	村山 友也（栄 町）
一の二部長	石塚 公貴（四ノ沢）
一の三部長	鈴木 真誠（宿 ）
一の四部長	岡崎 誠一（水 本）
一の五部長	海野 淳（宇津野）
第二分団長	佐藤 義則（松 程）
同副分団長	阿部 渡（ハツ沼）
二の一郎長	長岡 明（太郎一）
二の二部長	阿部 亨（松 程）
二の三部長	志藤 義彦（能 中）
二の四部長	阿部 春樹（常 盤）
第三分団長	白田 薫（大谷四）
同副分団長	遠藤 隆弘（真 中）
三の一郎長	清野 仁（大谷五）
三の二部長	小林 康仁（大 沼）
三の三部長	五十嵐 健（中 沢）
三の四部長	遠藤 康範（栗木沢）
役場消防部長	佐久間 淳（総務課）



▲大沼の浮島存続のための課題を語る山野井氏
◀真剣に耳をかたむける参加者の皆さん

3/22 実態調査の結果報告と、今後の課題を語り合う 大沼の浮島を語る会

大正 14 年に国指定名勝となり、地域住民などの努力によって維持管理されている「大沼の浮島」。近年、水質悪化などの環境問題から、今後の存続について専門的な実態調査が行われています。平成 22 年以降の調査結果と、環境維持について語る会が 3 月 22 日、大沼公民館で開催され、地区住民など約 25 人が参加しました。

報告会では、大沼の歴史・水質・地質それぞれの分野から見た調査結果について、3 人の有識者が説明。特に今後の課題と来年度以降の調査について、理学博士であり山形大学名誉教授の山野井徹氏より解説がありました。

参加者は真剣に耳をかたむけ、町の宝である浮島を守るために何をすべきか、改めて考えていました。



▲納入業者よりカギを受け取る菅井理事長
◀今後の活用について挨拶

3/27 日本財団の助成を活用し、送迎車両を更新 ふれあい荘デイサービス送迎車納車式

3 月 27 日、特別養護老人ホームふれあい荘（長岡浩之荘長）でデイサービス送迎用車両の更新に伴う納車式が行われました。日本財団の福祉車両助成（事業費総額約 360 万円のうち助成額約 210 万円）を受け、老朽化した 1 台を更新したものの。車両は 10 人乗り（車椅子 2 台積載可能）で、白地に 7 色の財団シンボルマークをあしらったカラフルなデザインです。

「デイサービス利用者の皆さんはもちろん、総合事業など、今後様々な場面で多くの方に利用していただきたい」と菅井理事長。「これからも安心安全な送迎に努め、社会福祉法人として地域と高齢者福祉に貢献していきます」と語っていました。

4/7 町内 3 小学校と朝日中学校に新入生 大谷小学校入学式

4 月 7 日、町内 3 小学校と朝日中学校の入学式が行われました。今年度の各学校の入学者数は、宮宿小が 29 人、西五百川小が 4 人、大谷小が 7 人、そして朝日中が 47 人。ピカピカのランドセルや制服姿の新入生たちは、新たな学び舎の門をくぐり、今後の学校生活への期待と希望に胸を膨らませていました。

大谷小学校では、村越靖校長が式辞を述べ、「友達をたくさんつくり、自分だけでなくみんなのために行動し、新しいことにどんどんチャレンジしてください」と新 1 年生を激励。また、先輩の 2 年生からは、歓迎のあいさつと楽器の演奏が贈られました。



▲胸を張って記念撮影
◀2 年生の先輩からは、歓迎のあいさつと「子犬のワルツ」の演奏が贈られました



3/14 1 年間の活動の総括を発表 地域おこし協力隊活動報告会

自治体の外から地域活性化に通じる活動を行う人材の誘致を推進し、支援する総務省の制度「地域おこし協力隊」。平成 28 年度現在、町で委嘱し活動する 3 人の隊員による活動報告会が 3 月 14 日、町役場で開催され、町民の方々や町外の地域おこし協力隊員など約 50 人が参加しました。

報告会では、白倉区で地域活動支援などを担当する石井応宝隊員、常盤区にオープンしたゲストハウス松本亭一農舎の管理人業務などを担当する阪野正義隊員、ふるさと納税ほか、町の様々な印刷物などのデザインを担当する青木亮太隊員が、それぞれ 1 年間の活動総括をスライドで発表。また、今後の活動と展望について語りました。

参加した男性の 1 人は「3 人の隊員の皆さんは自身の役割を知り、理解し、実行できる人たちだと感じた。発表を聞き、自分も町のために頑張ろうと思った」と語っていました。



▲おもてなし料理の試食会の様子



3/26 住民が主体となって地域を活性化させる 青空和合小学校活動報告会

3 月 26 日、和合地域交流センター友和館で、和合地域振興協議会（菅井正人会長）の 1 年間の活動を振り返る「青空和合小学校活動報告会」が行われ、地区住民など約 70 人が参加しました。

同協議会は、住民が主体となって和合コミュニティの維持と発展を推進する組織として、「和合地域づくり計画書」に基づいて平成 27 年に結成。報告会では各活動グループのリーダーが、和合の歴史や景観、りんご産業の振興、自主防災計画の策定などについて発表しました。また、農繁期の補助労働力確保策として、町外から観光を兼ねて農作業に参加する人を呼び込む「りんごホリデー」推進のため、納豆汁やぼた餅、焼きりんごなどのおもてなし料理の試食会が行われました。

参加者は料理を楽しみながら、和合地区の発展と未来について語り合っていました。



初めまして！今年3月1日に移住・交流推進員として着任した水沼祥乃（よしの）と申します。普段は常盤区にオープンした「ゲストハウス松本亭」農舎で管理人として常駐しています。どうぞよろしくお願ひします。

今日はこの場を借りて簡単に自己紹介をしたいと思います。

私は香川県高松市に生まれ、大学進学と同時に上京しました。学生時代は地域の子どもたちと遊んだり、地元商店街のクーポン情報誌を作る活動もしていました。卒業後は、東京都立川市にて新規設立された民間のまちづくり会社に就職。農産物直売店の経営に携わったり、商店街のイベントや会議の事務局、「アイデア



町地域おこし協力隊、緑のふるさと協力隊員と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「朝日町の皆さん、よろしくお願ひします」

移住・交流推進員（地域おこし協力隊） 水沼祥乃^{よしの}（香川県出身）



町での暮らしを楽しみながら情報発信していきたいと語る水沼隊員

はあつても予算がない」という方を資金調達の面から支援する業務などを担当しました。また、2年前より友人と5人で町内大谷にOYAOYA（おやおや）と名付けた空き家を借り、東京から町に遊びに来る若者の拠点を作っています。地域の方をお招きしてビアガーデンやかき水会も行い、現在も月に1回程度で活動が続いています。

地元香川県では雪どころか雨すらあまり降らず、高い山もありません。ですから、水量豊かな最上川、朝日連峰など雄大な山々、りんご畑、一面の雪景色：これまで見たことのない景色に、感動の連続です。今年初めて本格的な冬を過ごし、白黒一色だった野山が少しずつ芽吹いていくのに毎日うきうきしています。

松本亭の庭にも福寿草が咲き、水仙やあさつきの芽が伸び始めました。暖かい日は縁側でお茶もいいますよ。ぜひお気軽に遊びに来てください。



毎日の健康づくりでポイントが貯まる 健康マイレージがはじまります！



今月の担当 … 児玉 晴枝 保健師



素敵な笑顔の川村さん

春らしい陽気が続き、過ごしやすくなりましたね。新年度になり、環境が変わった方も多いのではないのでしょうか。体調に気を付けて元気に過ごしていきたいものです。

さて、町では平成27年度より健康づくりのための事業として「あさひまち健康マイレージ」を実施しております。昨年度は、条件を達成して20ポイント集めた方が174名。ポイントカードを提出していただき、桃色ウサビのボールペンや、歩数計などの達成記念品と交換しました。そのほか、県内の協力店で特典が受けられるやまがた健康づくり応援カードもお渡ししています。

さらに、抽選で当選された川村二子さん（大谷五）にはAsahi自然観の宿泊券

が贈られました。川村さんは北部はつらつサロンに積極的に参加されています。また、自宅でもサロンで学んだ手指の体操を行ったり、他にも散歩やグラウンドゴルフを楽しんでいるというところで、元氣な笑顔を見せてくれました。

抽選では、ほか24名の方へ桃色ウサビグッズ、ロイフェンの加工品話合せセットなどの景品をお贈りしています。ご当選された皆さん、おめでとうございます。

今年度も5月からあさひまち健康マイレージを実施します。健診（検診）や町の事業のほか、毎日の取り組み（散歩・禁煙・減塩など）でもポイントが貯まります。

楽しみながら健康づくりができるよう、町でもさまざまな事業を展開してまいりますので、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

▼問合せ先
健康福祉課 健康推進係
☎ 67・2116



新刊案内

「やむを得ない道」上・下
（上）最上義光表の合戦・奥の合戦
（下）最上義光もうひとつの関ヶ原
高橋 義夫 著



最上義光は、父義守一族や天童・白鳥氏、そして伊達氏らとの峻烈な内憂外患をいかに乗り越え、山形に君臨することができたのか？義光の「負けまい、勝つまいの戦」を描く長編歴史小説。「山形新聞」連載を単行本化。著者は86年から本県在住。

「合理的にあり得ない」上・水流涼子の解明
柚月 裕子 著



不祥事で弁護士資格を剥奪された上水流涼子は、探偵・上・ジェンシーを運営、明晰な頭脳と美貌を武器に、怪人物がらみの「あり得ない」依頼を解決に導くのだが…。メフィスト掲載を単行本化。著者は山形市在住。



【ブックテーマコーナー】
「春 気持ちもからだもリスタート」
～新たな一歩を踏み出すおすすめ本～

その他の新刊
▼かわつて妖怪談見習い／柴崎友香
▼立川忍びより／仁木英之
▼敵の名は、宮本武蔵／木下昌輝
▼ガーディアン／葉丸岳
▼団長殺し第一部 第二部／村上春樹
▼物件探偵／乾くるみ
▼不発弾／相場英雄
▼戦友たちの祭典（フェスティバル）／森村誠一
▼終わりなき夜に生れつ／恩田陸
▼定年男子定年女子／大江英樹
▼同一労働同一賃金の衝撃／山田久
▼人間じゃない／綾辻行人
▼北斎まんたら／梶よう子
▼ひとたびの、和泉式部／諸田玲子
▼ぼくの死体をよろしくたのむ／川上弘美
▼芝公園六角堂跡／西村賢太
▼単身急増社会の希望／藤森克彦
▼成功者K／羽田圭介
▼大暴落 ガラ／幸田真音
▼下衆の極み／林真理子
▼100歳までクルマを運転する／桃田健史
▼青い服の女／平岩三枝
▼出会いなし／森絵都
▼キトラ・ボツクス／池澤夏樹 ほか

特別
拡大版

町立図書館のご案内



◆町立図書館貸出ランキング（一般書／10月～3月）

タイトル／著者	出版社	貸出数
1 九十歳。何がめでたい／佐藤 愛子	小学館	15
2 コンビニ人間／村田 沙耶香	文藝春秋	13
3 まことの華姫／畠中 恵	KADOKAWA	12
4 あしたの君へ／柚月 裕子	文藝春秋	11
〃 危険なビーナス／東野 圭吾	講談社	11
〃 君の名は。 (角川つば文庫)／新海 誠	KADOKAWA	11
〃 白衣の嘘／長岡 弘樹	KADOKAWA	11
8 アンマーとぼくら／有川 浩	講談社	10
〃 希望荘 (杉村三郎シリーズ)／宮部 みゆき	小学館	10
〃 継続捜査ゼミ／今野 敏	講談社	10

※同順位はタイトルの50音順で掲載

戸籍のまど

Asahi town

3月1日～3月31日届出

Births

すこやかに

区 名	出生児氏名	性別	保護者名
本 町	堀 さくら	女	雄介・薫
前田沢	渡 邊 ゆめ	女	大貴・春花

Marriages

おしあわせに

水 沼 佑 太 (今 平)	♥	藤 原 祥 乃 (東京都)
佐 竹 寿 昭 (高 田)	♥	大 築 真 淑 (山形市)
遠 藤 沢 真 (山辺町)	♥	白 田 真 唯 (宿)
安 藤 翼 (西 原)	♥	白 田 愛 (西川町)
齋 藤 秀 規 (中山町)	♥	阿 部 美 香 (松 程)

Obituaries

やすらかに

区 名	死亡者氏名	世帯主名
大 沼	小 林 正三郎	本 人
松 原	小 渡 辺 こよ	正 博
大谷七	小 野 くにゑ	勝 雄
太郎一	長 岡 た よ	剛
松 程	阿 部 昌 雄	貢
大谷六	保 利 貞 雄	隆 宏
松 程	長 岡 清 子	紀 雄
太郎一	齊 藤 秀 雄	本 人
大 町	長 岡 勇 雄	本 人
送 橋	相 座 いちの	榮 宏
夏 草	阿 部 マツエ	一 雄
常 盤	安 藤 昭 八	利 行
西船渡	鈴 木 茂 利	智 仁
小 原	新 宮 洋 子	浩 延
真 中	川 村 まさゑ	政 弘

Population

人口と世帯数

●平成29年 3月31日 現在
※()内は先月比

人 口 7,189 人 (- 36)
男 3,558 人 (- 17)
女 3,631 人 (- 19)
世帯数 2,475 世帯 (- 3)

----- 3月中の異動 -----

出生 2人 転入 28人
死亡 18人 転出 48人
(※外国人を含む)



あさひ保育園の 園長に遠藤康男氏 (栗木沢) が就任

4月1日、あさひ保育園の新園長に遠藤康男氏(栗木沢／66歳)が就任しました。

遠藤氏は、県内中学校の教員を38年間務め、平成23年3月、朝日中学校校長を最後に定年退職。その後も人権擁護委員、町青少年育成町民会議会長などを歴任し、青少年の健全育成に尽力されています。

園長就任にあたっては「保育園は、子どもたちが初めて社会生活の第一歩を踏み出す場所。保護者の皆さまと一緒に、その成長を大切に見守っていきたい」と抱負を語っていました。



東北電力株式会社と株式会社ユアテックより LED街路灯5灯が寄贈されました

東北電力株式会社天童営業所(星昌明所長)と株式会社ユアテック寒河江営業所(後藤桂司所長)によるLED街路灯5灯の贈呈式が、3月17日、町長室で行われました。

「明るく住みよいまちづくりの一助としてほしい」として寄贈されたもので、これらは朝日中学校校門付近の通学路に防犯灯として設置されました。

～お詫びと訂正～

本誌の先月号(2017年3月号)1頁および2頁の「春の雪山トレッキング」の記述で「大雪渓」と記載しましたが、正しくは「大雪庇」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



ポールを使った体操やゲーム、屋外での歩行演習など軽スポーツを楽しんだ

来年度も同社と協力し、町内数力所のモデル地区で継続実施を予定。数力月単位で体力測定などを行い、効果を実感しながら習慣的に体を動かす仕組みづくりに取り組みます。

3月28日、まちづくり事業で町と提携を結ぶミズノ株式会社との共同事業「らくらくポール教室」が行われ、公募で集まった7歳から89歳までの町民約30人が参加しました。

スポーツと健康づくりを結びつけ、いつまでもイキイキと活動できるまちづくりの一環。地域の介護予防ボランティアを養成する教室も兼ねており、参加者には全員に修了証が贈られました。

教室では、ミズノ株式会社ライフスタイルスポーツ事業部職員である森裕史氏が、昨年7月に行われたノルディックウォーキング教室に続いて講師として登場。2本のウォー

スポーツでイキイキいつまでも健康に らくらくポール教室



ASAHI TOWN × MIZUNO
共同事業



割引チケットでスタジアムへGO！

モンテディオ山形ホームゲーム「朝日町応援デー」

- ▶日 時 5月21日(日)
14:00キックオフ(12:00開場)
- ▶会 場 NDソフトスタジアム山形(天童市)
- ▶対戦相手 レノファ山口
- ▶席 種 バックスタンド席
- ▶料 金 1,500円(通常当日券価格の半額)
- ▶事前販売 5月8日(月)～5月19日(金)の平日
午前9:00～午後5:00
- ▶販売場所 創遊館(教育文化課)
- ▶問合せ先 町教育委員会 教育文化課 生涯学習係
☎67-2118

※事前販売・当日販売とも同価格で販売。購入にあたり免許証、健康保険証、社員証など、朝日町内に在住もしくは在勤の証明ができる証明書提示が必要です。(前売券販売状況により当日券販売を行わない場合もあります)
※1証明書につきチケット1枚の販売とさせていただきます。小中高生には無料となる登録カードの申込書をお渡しします。
※応援バス運行についてはお知らせ板(4/14発行号)をご覧ください。
※詳しい情報はモンテディオ山形ホームページをご覧ください。



→ Check !

◀町の紹介と、いただいた寄付金の使い道に目を向けてもらえるよう、昨年度の活用事業を具体的に紹介

▼返礼品の詳細は、写真付き申込書を別紙で添付。期間限定の返礼品にも対応します

山形県朝日町について

朝日町はこんな町

朝日町は山形県のほぼ中央に位置する、人口約7,000人の町です。最上川が南を21キロにわたって蛇行し、磐梯湖国立公園をはじめとする原生林が町の73%ほどを占める、自然豊かな町です。

最上川の両岸に沿った河原は農圃栽培に適した肥沃な土地で、130年以上の栽培歴史を持つりんごは町のシンボルです。そのほかにも品質がアップルから産るワインなど、特産の宝がたくさんあり、町民一人ひとりが誇りを持って育てています。

小さい町ながら、産業をはじめ、観光や教育など、まだまだ力を注いでいることがたくさんあります。朝日町、これからをぜひふるさと納税で応援してください。

ステキな田舎のその先を、

あなたと一緒につくりたい。

たくましい朝日っ子育成事業

施設整備や教育関連サービスの拡充はもろろん、子どもたちと保護者にとって安全・安心・住みやすい町をつくりたい。

日本一のりんごの里づくり事業

町の農家に対するサポートや新規就農者への支援、そして朝日町のシンボル「りんご」の品質の維持、海外輸出など販路拡大を目指します。

支えあう集落元気事業

町内には大小55の集落があります。各集落がそれぞれの個性を活かしながら、地域コミュニティや伝統文化を継承できるよう支援します。

「地域を元気にする活動への補助」(平成28年度)

選べる寄付金の「使い道」

朝日町が力を入れたいこと

特に力を入れます

- 空気遊むふさとづくり事業
- みんな温かい交流・観光事業
- みんな進んでにこにこ元気事業
- 町長におまかせ事業

寄付金の使い道は、「朝日町ふるさと通信」でお伝えしています。



※毎年度の寄付金に際してお送りしています。



JR山形駅より車で35分、山形自動車道常陸川ICより車で20分、山形の「ふるさと」が朝日町です。



平成29年度版「ふるさと納税リーフレット」ができました。



▲サイズはA4判 (A3両面2つ折り)

デザインにこだわり、寄付の使い道や町の情報を継続してお届けすることで、続けて応援したくなる町のPRに取り組んでいる朝日町のふるさと納税。この度最新版のリーフレットが、新年度開始に合わせて完成しました。赤と白を基調としたデザインは変わらず、町の特徴や特産品、昨年度実施された寄付金を活用した事業の紹介など、町を知るきっかけづくりに重点を置いた内容となっています。

「返礼品は敢えて概要紹介に留め、町の営みを応援していただくという制度本来の主旨を大切に、デザインに反映させま

した。ふるさと納税をきっかけに、朝日町のファンが少しでも増えてくれたら嬉しいです」と、ふるさと納税全般のデザインを担当する青木亮太情報交流推進員。

リーフレットは今後希望者に送付するほか、町内外の各種イベント、道の駅あさひまちなどで配布します。また、会社や商店、個人でも、町の紹介にぜひご活用ください。ご希望の際は、下記までお問合せください。

▶問合せ先 政策推進課 ブランド推進係
☎67-2112

春夏秋冬
編集後記

10年後も住み良い町へ…
未来へ向かう道しるべ

計画策定には、もちろん町民の皆さんのご協力が不可欠です。「どうしたらもっと素敵な町になるか」「そのために何をすべきか」「何ができるか」を話し合い、今後10年間の活動指針を定めます。こうした町民ワークショップを今年すでに1回行っており、8月までに6回開催する予定です。ワークショップの様子は、広報誌5月号から、毎月連載枠で紹介していきます。これからの朝日町の動きにぜひご注目ください。村山 彩

思えばあつという間の12カ月。広報担当になって丸1年が過ぎました。今年度も引き続き、町の色々な場所へお出かけいたしますので、どうぞよろしくお願いします。さて、今年度は町の第5次総合発展計画の最終年であると同時に、第6次総合発展計画を策定する大きな節目の年となります。何やら難しいようですが、「これからも幸せに住み続けられる朝日町を、私たちみんなでつくりたい」という計画です。